大邱外国語高校との交流

2024年1月18日～22日に、韓国の姉妹校である大邱外国語高校から研修団が来校しました。本校では2001年から交流を毎年実施しておりましたが、4年ぶりに直接対面での交流を行うことができました。また、大邱外国語高校からは、1月9日～22日に2名の生徒が短期留学生として来校しました。

1月18日(木)の午後、舟入高校に到着された研修団は、グループごとに校内を見学しました。第二外国語の授業で韓国語を履修していた国際コミュニケーションコース3年生の生徒が主体となり、韓国語や英語を交えて、校内を案内しました。普通科のクラスも一部見学をさせていただき、質問コーナーで盛り上がったグループもありました。校内見学後、ホストとなる本校生徒と顔合わせと写真撮影を行い、帰路につきました。

2日目の1月19日(金)には、午前中に平和記念公園を訪問しました。「原爆ドーム」、「原爆の子の像」、「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」、「広島市立高女原爆慰霊碑」、「平和記念資料館」などを見学しました。「ヒロシマ」の当時の悲惨さを目の当たりにし、心を痛める研修団生徒の様子も見受けられました。

本校に戻った後、食堂でランチを楽しみ、午後からは PTA の方による交流会と、国際コミュニケーションコースの生徒との交流会を行いました。PTA の方による交流会では、お気に入りの漢字を1つ選び色紙に書写する体験を行い、研修団の生徒たちは漢字を書くという初めての経験にわくわくした様子で挑戦していました。

その後、1年8組と2年8組の生徒による交流会を行い、ダンスや韓国語での早口言葉、平和についてのプレゼンテーションなどを披露し、研修団生徒は大いに楽しんでいる様子でした。また研修団の生徒のみなさんには、クイズ大会と K-POP ダンスを披露していただき、クイズ正解者は韓国からのお土産をいただきました。本校の生徒も非常に盛り上がりました。交流会後には、音楽部による演奏や箏曲部の見学を行いました。

1月20日(土)は、研修団の生徒はホストファミリーと過ごし、
1月21日(日)朝に、広島駅に集合し、無事に帰国されました。

今回の交流会は、本校の生徒にとっても、大邱外国語高校のみなさんにとっても、大変貴重な機会になりました。今年数年ぶりに来校し本校を楽しんでくださった、短期留学生のみなさん、研修団のみなさん、本当にありがとうございました。また、舟入高校の生徒のみなさん、お疲れさまでした。今後もこのような国際的なご縁を大切にしていきたいですね。